

学校 教育 目標	たくましく生き抜いていく子ども ～心身ともに健康で、豊かな心情をもち、自分の言葉で語る実践力のあるたくましい子どもを育成します。～ 知: 自ら見つけ、自ら考え、学んだことを実生活に生かす力を育てます。 徳: 自らを律しつつ、他人と協調し、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育てます。 体: たくましく生きるための健康や体力などを育てます。 公: 規範意識をもち、人間関係力の育成を図ります。 開: 日本および横浜の歴史と伝統文化を尊重する心の育成を図ります。				
	創立 87 周年 児童生徒数: 804 人	学校長 望月 重晴	副校長 小野 雅美	2 学期制	一般学級: 23 個別支援学級: 5
学校概要	主な関係校: 神奈川中学校、大口台小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題解決・解決能力> <心身ともにたくましく生きる力> <自分づくりに関する力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	神奈川中学校 大口台小学校 白幡小学校	たくましく社会を生き抜いていく子ども ・どの教科でも生かせる汎用的能力を身につけさせるために、授業を通して子どもの姿で語り学び合う小中合同授業研究会の実践 ・小中合同人権研修を通して、礼儀や思いやりなどの子どもの育ちに関する見取りや児童生徒指導観の共有 ・小中交流や地域行事への参加や交流を通して、まちとともに育つ経験の積重ね

中期 取組 目標	○すべての子どもに学力(学ぶ意欲と考える力)と人間関係力(協働して学び合い高め合う力)を付け、地域とともに歩む学校にします。 ・日々の授業を通して、学習課題を設定する力、見通しをもって解決していこうとする力、自分の考えを分かりやすく論理的に説明する力を育て、確かな学力を図ります。 ・教科等を横断する汎用的なスキルにかかわる力を育てます。 ・得た知識を活用する自主的学習力をつけ、読書好きの子どもにします。 ・人とかかわることで、相手意識をもった行動の取れる態度や考え方を身につけます。 ・一人ひとりが自己肯定感をもち、自信をもって地域とかかわり、豊かな体験を通して白幡のまちを愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①学校教育目標とそれを具体化した「目指す子どもの姿」を具現化するために、教科等横断的な資質・能力と教科等固有の資質・能力を明確にし、授業実践・カリキュラム開発・カリキュラム改善を行う。 ②子ども自ら発見した問題を解決する方法を自己選択・自己決定しながら学び続ける授業づくりを行う。
担当 重点研究	
徳 豊かな心	①児童と教職員による安心安全委員会で、いじめを未然に防ぐための方策について考え、日常化を図り、保護者や地域へと発信する。②道徳と各教科領域の関連をより一層図り、児童や学級の実態に合わせて、「自分ごと」として課題を解決することを通して主体的な価値の自覚ができるような道徳の授業を実践する。
担当 児童指導・特別支援	
体 健やかな体	①体育科の授業改善を図り、知識を活用しながら自ら考えたり、自分の考えを伝え合ったりできるような活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図る。②地域のスポーツクラブと連携し、体力向上プログラムを行い、児童の運動能力の向上を図る。③「元気アップチャレンジ」を通して、健康教育・食育の充実を行う。
担当 重点研究	
公 開 未来を開く志	①中学校ブロックでSDGs(持続可能な開発目標)について研修を行い、教職員の知識を深め、SDGsを特別なものとしてなく、「自分ごと」として捉えて教科指導や学校での様々な活動で浸透が図れるよう行動する。②校内にSDGs(持続可能な開発目標)についての掲示をし、児童への周知を図る。
担当 防犯防災・地域連携	
いじめへの対応	①常に潜むいじめについて積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②月1回全職員でいじめ防止対策委員会を実施し、経過確認・要配慮児童の情報交換・今後の対応について共通認識をもつ。③年3回のいじめ防止研修を実施するとともに、年2回の児童アンケートと面談により、些細な変化を見逃さない体制をつくる。④「安心安全対策委員会」を実施し、児童がいじめの問題解決に向けて主体的に考える機会とし、未然
担当 児童指導・特別支援	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①4部会ではミドルリーダーを中心として主幹教諭がサポートする体制を作り、職員全体で組織マネジメントの意識を高め人材育成を図る。②グループウェア(ミライム、LINE WORKS等)を活用して、情報の共有化を図るとともに、会議の精選、事務の簡易化、効率化を図り、働き方改革につなげる。
担当 評価・情報	
地域学校協働活動	①「白幡いちょうの会」による土曜塾で、教員がボランティアに助言をし、同じスタンスで児童にかかわるようにする。②商店街などで調べ学習に取り組んだり、サマースクールや読み聞かせや花植え隊などの地域人材を活用した学習を充実させたりする。③学校運営協議会を生かし教育活動の実践・改善を行う。
担当 防犯防災・地域連携	
特別支援教育	①校内で特別支援教育の研修会を開き、ユニバーサルデザインを基本としたどの学級でも特別支援の視点をもった学習支援を行うことができるようにする。②各学級において特別な支援を必要とする児童に対して、学級担任の支援だけでなく組織的な対応ができるようにコーディネーターを中心としたサポート体制を整える。③障害を理由に、授業に参加できない状況にないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく、授業に参加
担当 児童指導・特別支援	
a14	b9
担当	
a15	b10
担当	